

おきむら

# 興村脳神経外科クリニック通信

<第34号> H27. 10月

皆様いかがお過ごしですか？

興村脳神経外科クリニック通信第34号をお届けします。

バックナンバーは当院のホームページからも閲覧できますのでご利用ください。 <http://www.okimura-nouge.com/> 皆様のご支援に支えられ開院4周年です。ありがとうございます。経営状態は順風満帆ではありませんが、地域医療への情熱は持続していますのでご安心ください。経営については特別な学習をすることなく「独断」に近い形での試行錯誤ですから、苦勞はまだまだ続くでしょう。一方で医療については医者であった父や多くの立派な先輩医師を「模範」としているのである程度の自信があります。話は変わりますが、東京オリンピックのエンブレムについて「独創」か「模倣」かが問題になっていましたね。「独断」と「独創」、「模範」と「模倣」、漢字が一文字変わるだけで大きく印象が変わってしまうものだと思います。

さて今月の話題は医学における『独』と『模』です。

基礎医学は将来の人類の健康に貢献することが目的なので『独創』性が大切です。当初は『独断（独りよがり）』的と批判されていた研究が大きな成果となったものも数多く知られています。『模範』とすべき先人の教えを学んだ上で『模倣（マネ）』でないものを生み出さなければならないので大変です。臨床医学の現場でも『模倣（マネ）』だけでは問題が解決できない患者さんに対し、新しい治療法が必要な事があります。この場合、医師は『独断（独りよがり）』になっていないかどうかを常に自己チェックしなければならないと思っています。時にこの自己チェックが甘くなると患者さんに不利益を与えてしまいます。やはり、目の前にいらっしゃる患者さんの問題を解決するための基本は『模範』となるデータに基づいた安全性、確実性の高い治療を行うことです。その上で、個々の患者さんに合わせた細やかな『独創』的手法を取り入れるべきでしょう。未熟ではありますが、患者さんに対し、先人の教えや証拠を『模範』とした治療方針を基本としつつ、単なる『マネ』でなく、時には『独創』的な手法も取り入れ、それでいて『独りよがり』にならない、そんなバランスのあるクリニックをスタッフとともに目指していきたいと思っています。

今後とも、クリニックならびにクリニック通信にご指導いただければ幸いです。

興村脳神経外科クリニック



インフルエンザ予防接種の

予約を承っております♪

詳細は受付まで

お問い合わせ下さい。

## ◇健康診断のお知らせ◇

当院では、健康診断を実施しております。予約制となりますので、ご希望の方は受付へお申込みください。

検査項目等詳細は、別紙“健康診断のご案内”をご覧ください。

## ◇当院からのお願い◇

◆月初めには、保険証の提示をお願いいたします。70歳以上の高齢受給者証をお持ちの方は、保険証と一緒にご提示ください。

◆お電話にてご予約される際は、まず診察券番号とお名前をお伝えくださいますようお願いいたします。

◆お引越し等で住所・電話番号が変更になった際は、お知らせください。